参　考　手　本

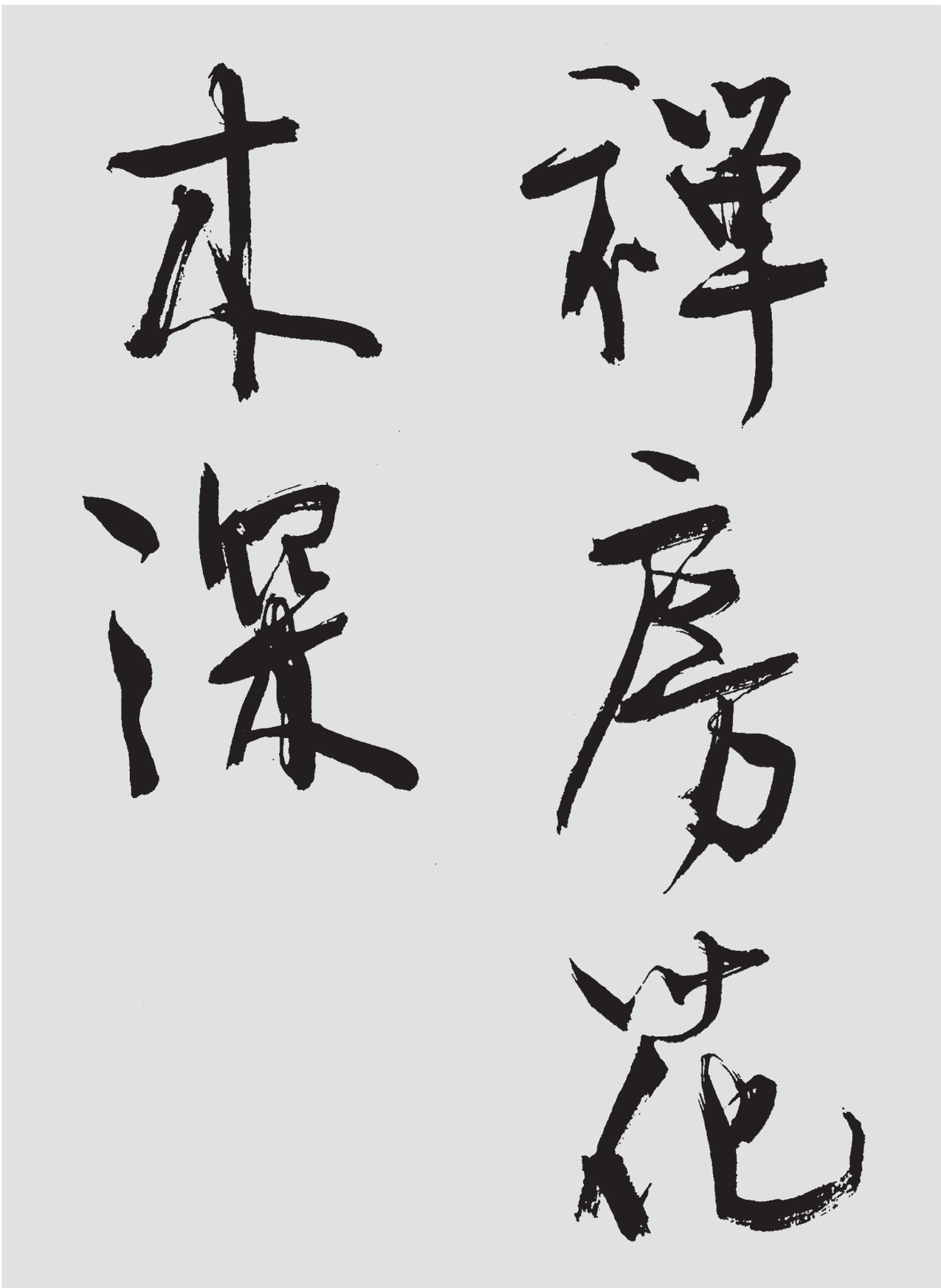


情を寄す千里の光りに

高木聖雨先生

※これは規定課題ではありません。

参　考　手　本



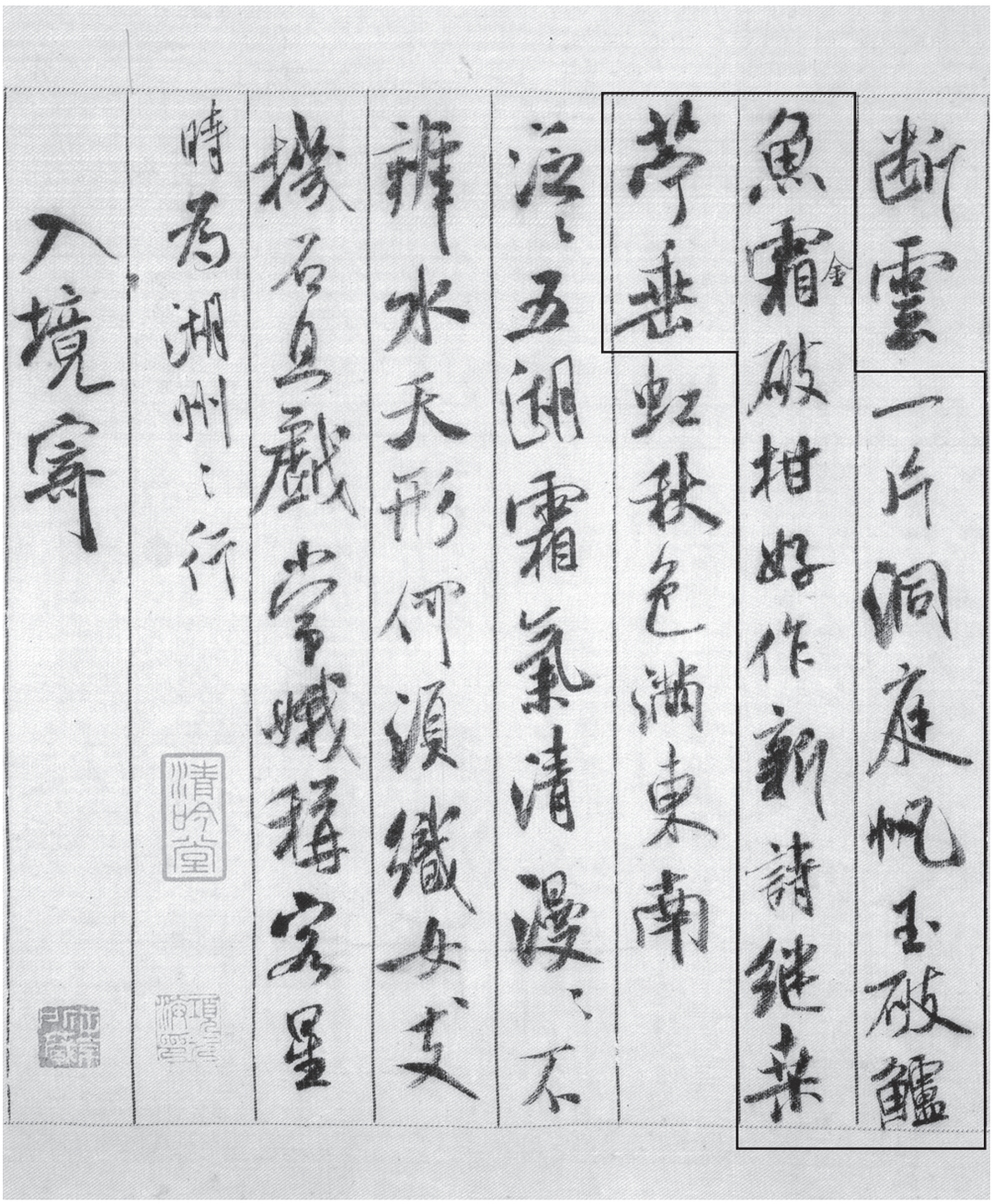
禅房花木深し

成瀬映山先生

※これは規定課題ではありません。

条幅規定

A部（準五段以上）



『蜀素帖』（しょくそじょう）　米芾（べいふつ）（宋）

斷雲一片洞庭帆。
玉破鱸魚霜破柑。
好作新詩繼桑苧。
垂虹秋色滿東南。
泛々五湖霜氣清。
漫々不辨水天形。
何須織女支機石。
且戲常娥稱客星。
時爲湖州之行。
入境寄

斷雲一片洞庭の帆（はん）
玉（ぎょく）は鱸魚（ろぎょ）を破り　金（きん）は柑（かん）を破る
好（よ）し新詩を作りて桑苧（そうちょ）に継（つ）ぎ
垂虹（すいこう）の秋色（しゅうしょく）東南に満つ
泛々（はんはん）たる五湖霜気（そうきよ）清く
漫々（まんまん）として辨（べん）ぜず　水天の形
何ぞ須（もち）いん織女（しょくじょ）の支機石（しきせき）
且（しばら）く常娥（じょうが）に戯（たわむ）れて客星（かくせい）と称せん
時（とき）に湖州（こしゅう）の行（こう）を為（な）す
入境寄

【今月の課題】
「一片洞庭帆玉破鱸魚霜
破柑好作新詩繼桑苧垂」
（20字）

（12月10日締切）

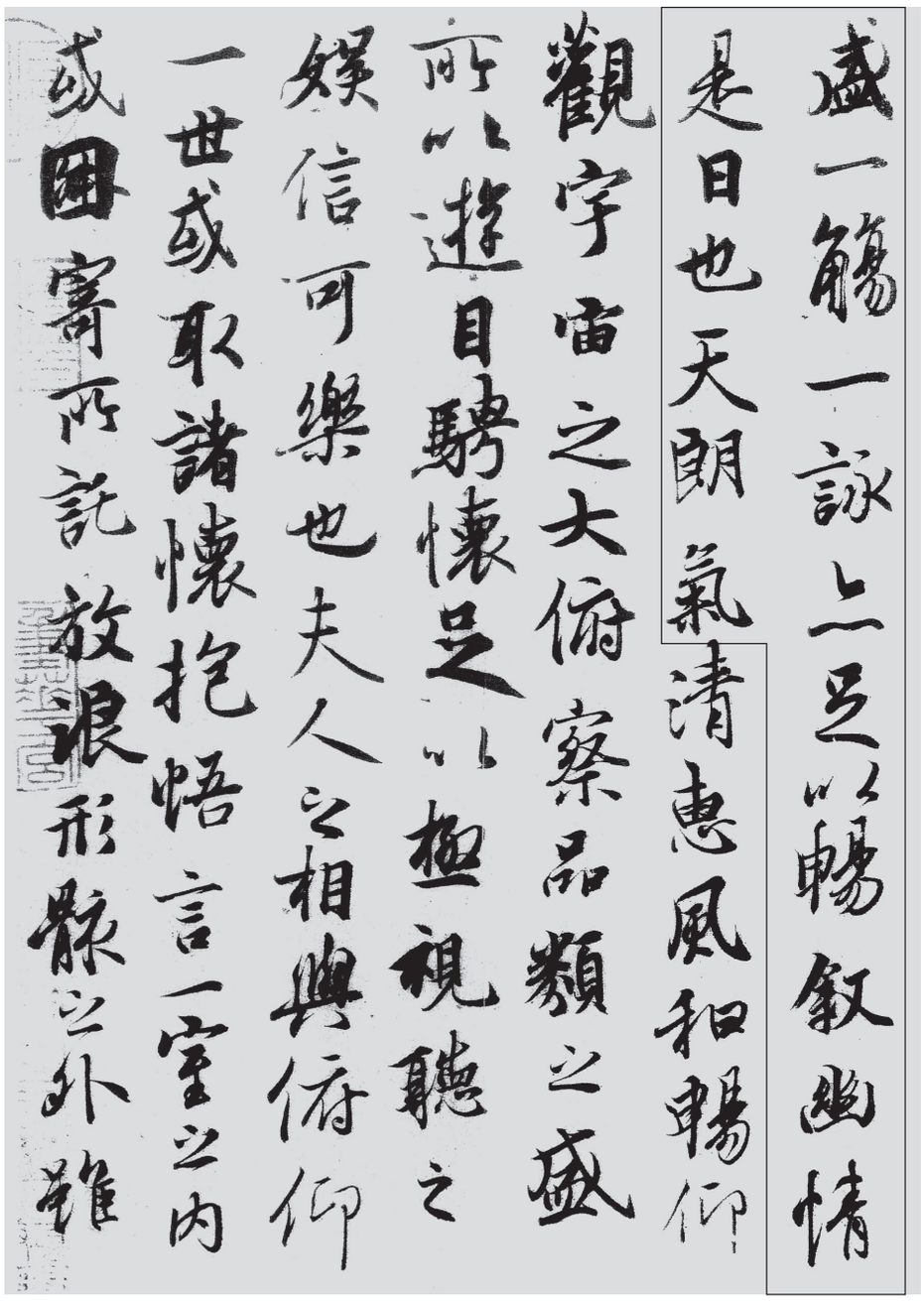
条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅規定

B部（四段以下）

『蘭亭叙』（らんていじょ）　王羲之（おうぎし）（東晋）



盛。一觴一詠。亦足以暢叙幽情。是日也。天朗氣清。惠風和暢。仰観宇宙之大。俯察品類之盛。所以遊目騁懐。足以極視聽之娯。信可樂也。夫人之相與俯仰一世。或取諸懐抱。悟言一室之内。或因寄所託。放浪形骸之外。雖盛無しと雖も、一觴一詠、亦た以て幽情を暢叙するに足る。是の日や、天朗らかに気清み、恵風和暢す。仰いでは宇宙の大を観、俯して品類の盛んなるを察す。所以に目を遊ばしめ懐を騁せ、以て視聴の娯しみを極むるに足れり。信に楽しむ可きなり。夫れ人の相い与に一世に俯仰するや、或いは諸を懐抱に取って、一室の内に悟言し、或いは寄せて託する所に因って、形骸の外に放浪す。

【今月の課題】

「盛一觴一詠亦足以暢叙
幽情是日也天朗氣」

（18字）

（12月10日締切）

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

半紙規定 (一)

曹全碑（漢・作者不詳）



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

相金城西部

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隷書
〔一級以下〕楷書

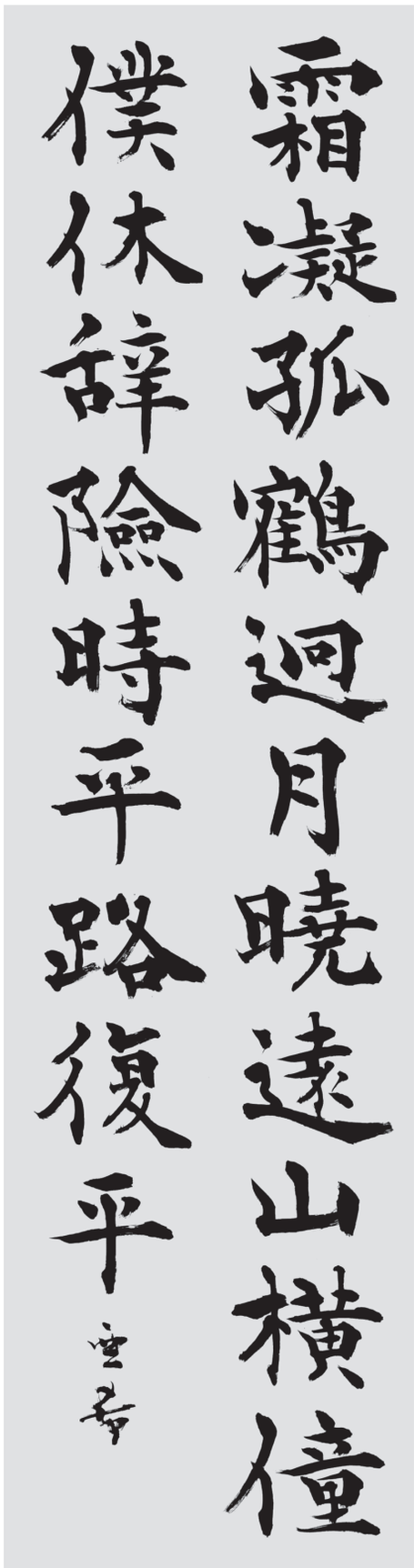
徳豈臣之末

令徳にして、豈に臣の末学の、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

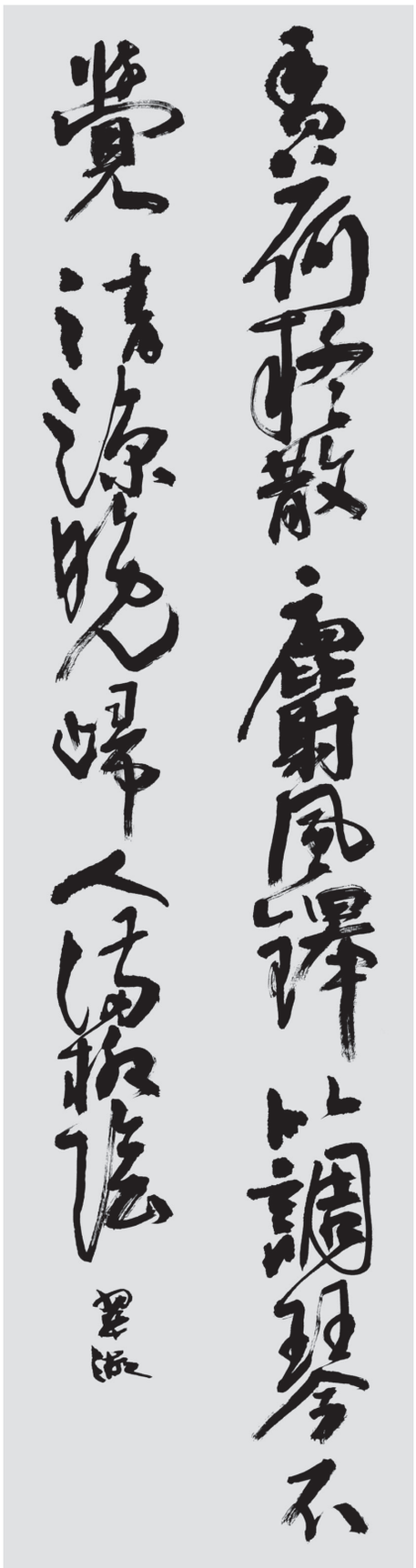
（12 月 10 日締切）

条幅参考手本



霜凝孤鶴迥　月暁遠山横　僮僕休辞險　時平路復平
霜凝りて孤鶴迥かに　月暁にして遠山横たわる　僮僕よ険を辞するを休めよ　時平らかなれば路も復た平らかなり

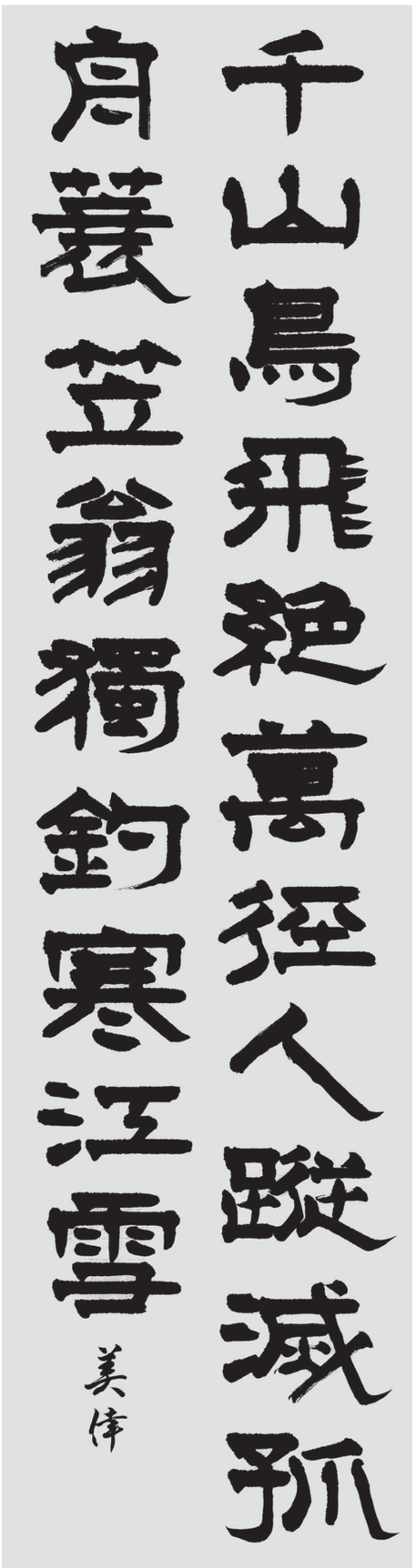
森亜希子先生



香荷疑散麝　風鐸似調琴　不覺清涼晩　歸人滿柳陰
香荷麝を散ずるかと疑い　風鐸琴を調ぶるに似たり　覚えず清涼の晩　帰人柳陰に満つるを

小野翠湖先生

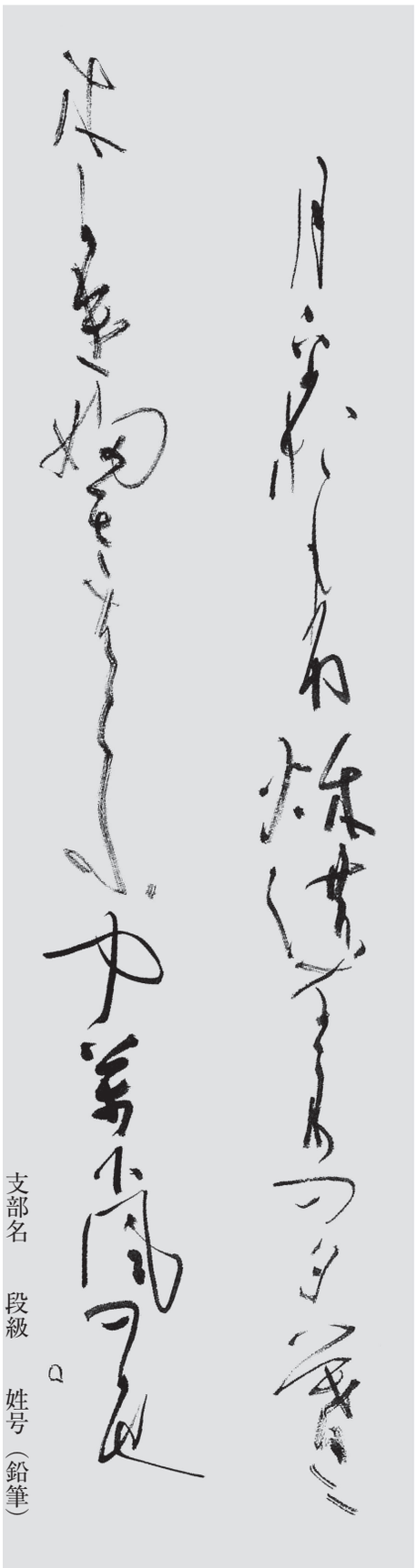
条幅参考手本



千山鳥飛絶　萬徑人蹤滅　孤舟蓑笠翁　獨釣寒江雪
千山鳥飛び絶え　万径人蹤滅す　孤舟蓑笠の翁　独り釣る寒江の雪

堤　美倖　先生

条幅かな



月（つき）をおもふあきのなごりのゆふぐれにこかげふきはらふ山嵐（やまおろし）のかぜ（前大僧正慈円）

手於布妹濃奈利夕暮二木可遣婦者やまおろし可

浮　乗　清　郷　先生

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

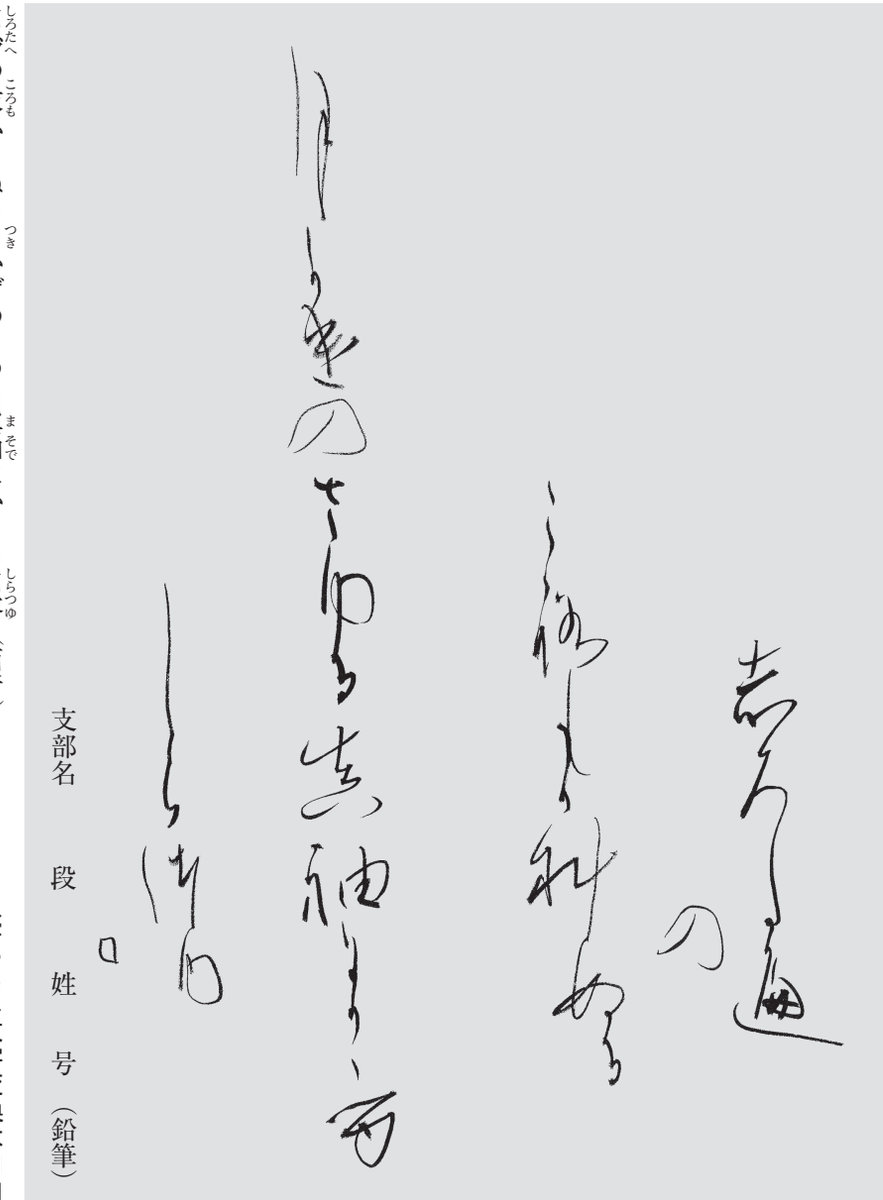
（12 月 10 日締切）

浮乗清郷先生

半紙かな（初段以上）

白妙(しろたへ)の衣(ころも)かさぬる月(つき)かげのさゆる眞袖(まそで)にかゝる白露(しらつゆ)（西行）

志ろ多遍　こ路も可　斜　可　遣　尓　可　留　しら徒ゆ



支部名　段　姓　号（鉛筆）

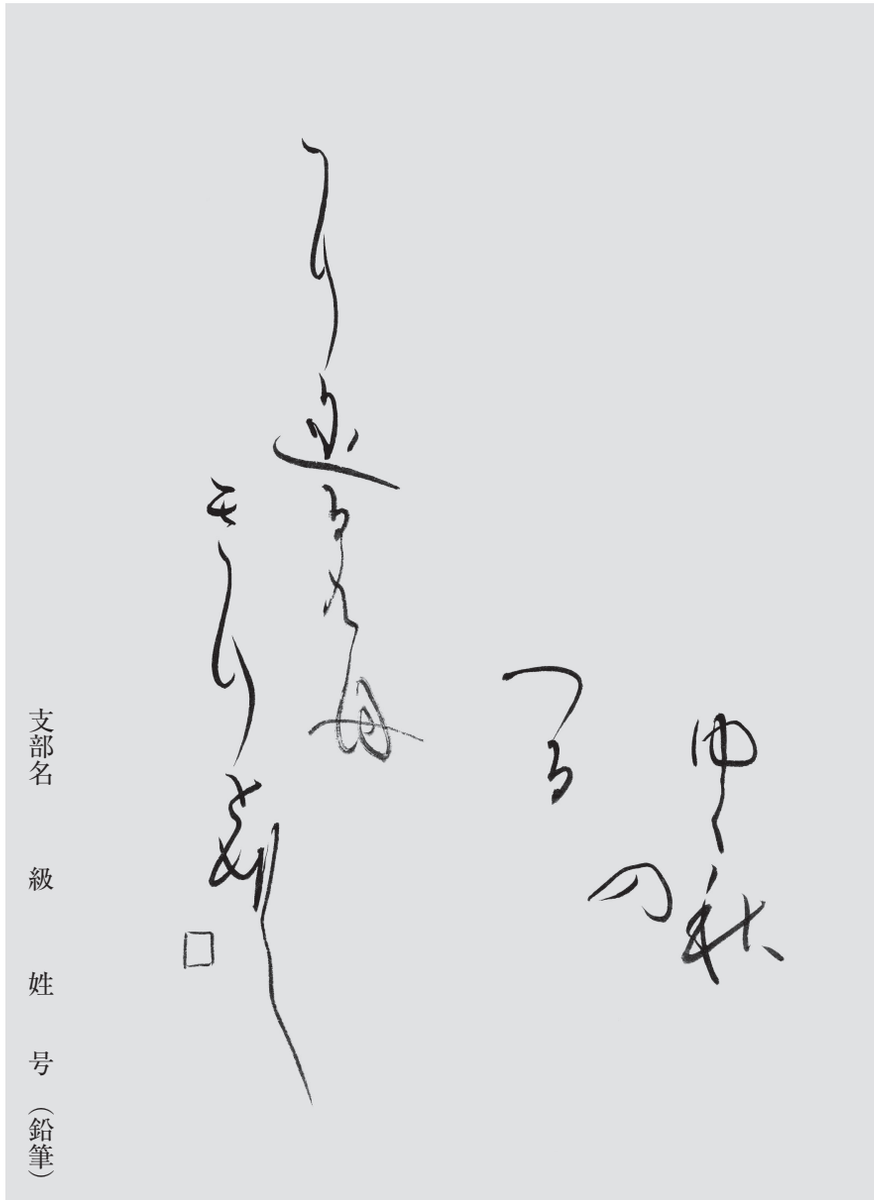
※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（１級以下）

行く秋(ゆくあき)の鶴(つる)に似(に)る雲切通(くもきりどお)し（鍵和田釉子）

耳　迩　九母　本



支部名　級　姓　号（鉛筆）

※ちらし文字変換は自由

古田葉子先生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（12 月 10 日締切）

実　用　文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

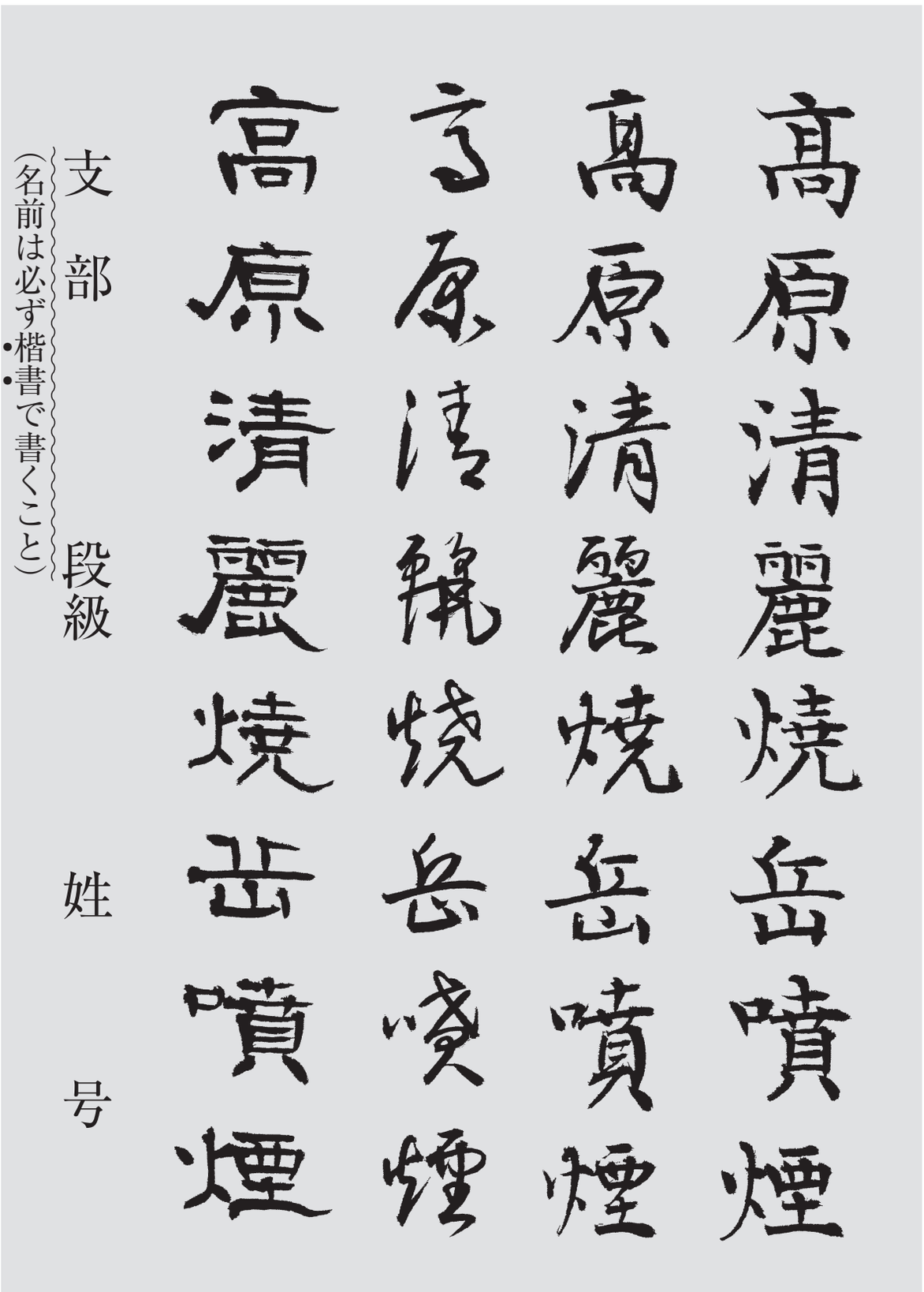
木々が鮮やかに染まり、行く秋
の情まれる頃となりました。
朝晩は冷え込みますので、どうぞ
ご自愛ください。
支部名　段級　姓名

鈴木翡恵先生

（12月10日締切）

細　　字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より　P53



支部　　段級

（名前は必ず楷書で書くこと）

姓　　号

※一級～八級は草書まで。　初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17cm（よこ）×24cm（たて）

主幹　菅野翠濤

（12月10日締切）

硬筆（初段以上）

3行、行草書

集中して書く時間が心を静かに
整えてくれる。書道は現代の忙し
さから離れる贅沢だ。
支部名　　姓　　号

青柳江雲先生

…書く…静かに整えて…現代…離れる…。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

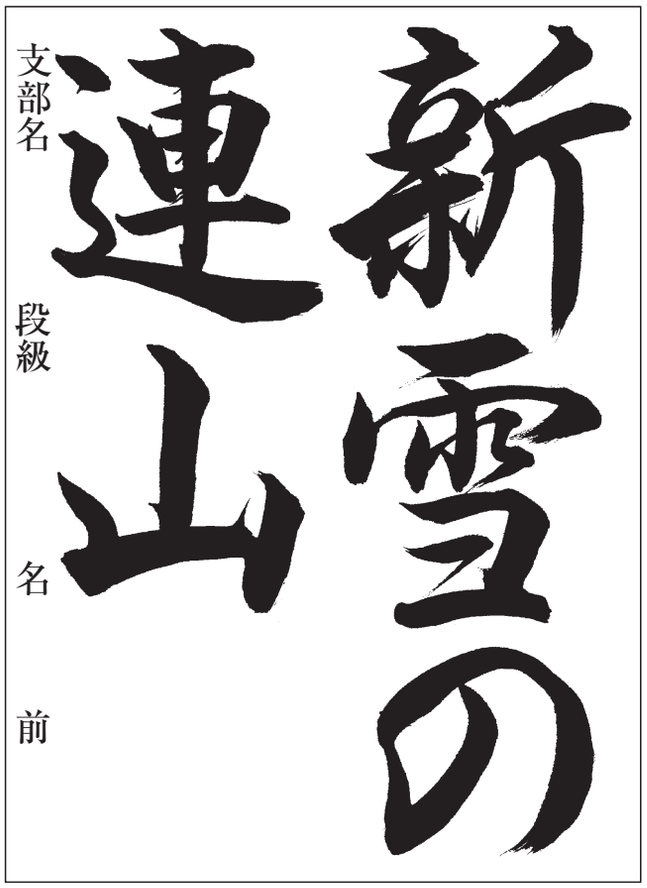
澄んだ夜空に星が瞬きだし、北
風が冬の訪れを告げている。
支部名　　級　　姓　　号

渡邊南嶂先生

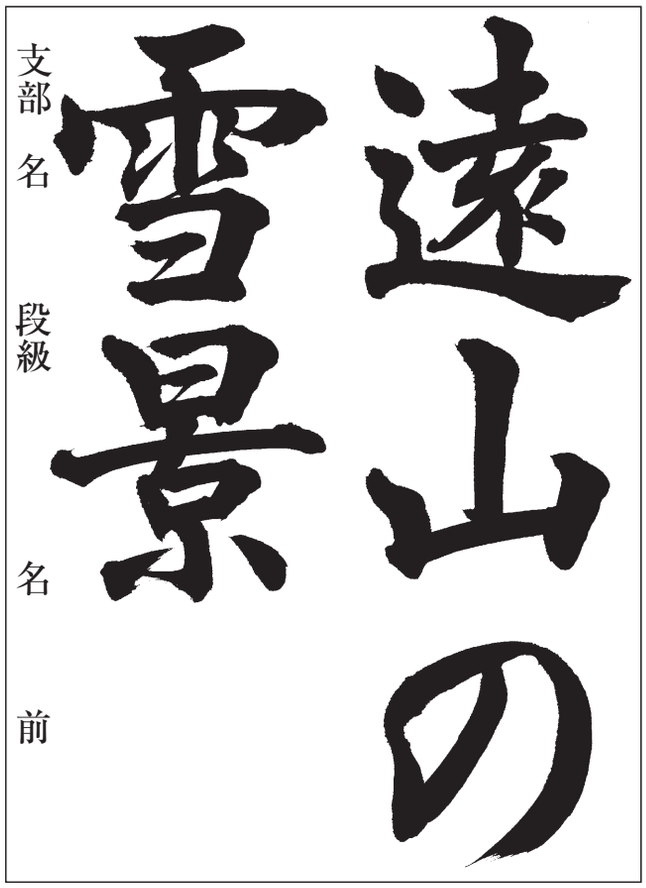
※本院定型用紙・たて半分に書く

（12月10日締切）

中２用



中３用



小６用

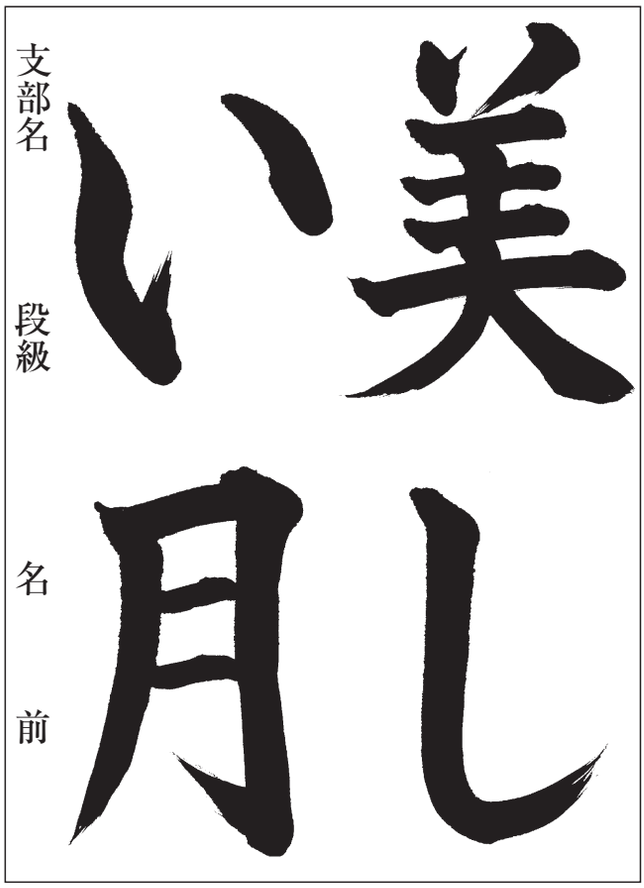


中１用



（12 月 10 日締切）

小４用



小５用



小２用



小３用



（12 月 10 日締切）

中１

不断の努力ですばらしい記録を樹立したのだ。

中１～中３　青柳江

中２

紅葉の名所は、山地の渓谷や湖畔などに多い。

中３

登場人物の気持ちを理解しながら物語を読む。

雲先生

小１・幼年用

支部名

段級

名前



鈴木翡恵先生

小１・幼年

おばあちゃんは、あさんぽをします。

小１～小３　田邊翠

小２

おちばを一まい本のあいだにはさみました。

小３

強い北風が、ヒューとうなっています。

鶴先生

小４

急に寒くなってきた。みんな元気ですか。

小４～小６　齊藤翡

小５

校庭のいちょうが、金色にかがやく季節です。

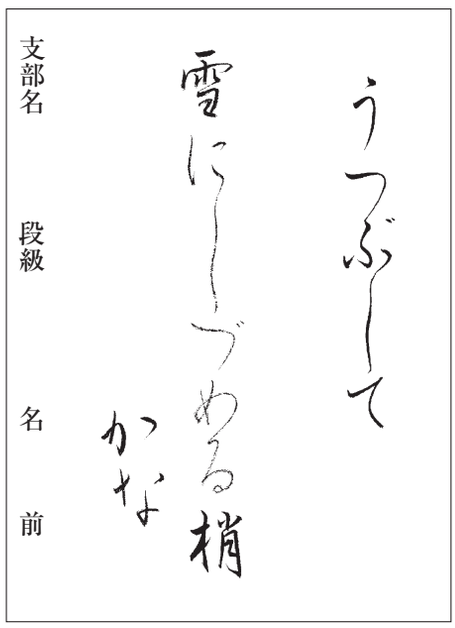
小６

この料理は、野菜も肉も入って栄養たっぷり。

流先生

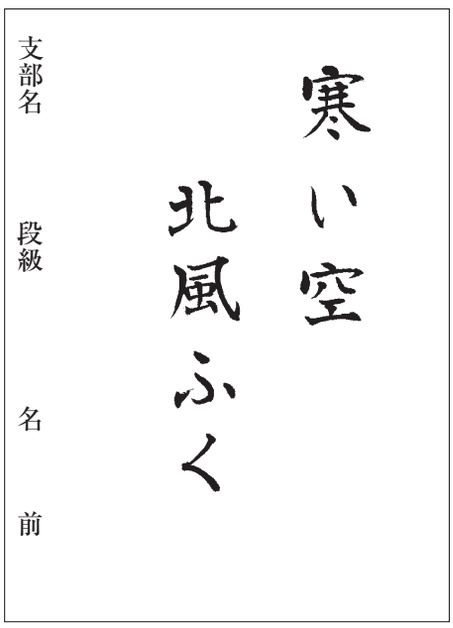
（12月10日締切）

中学部かな課題



船久保棠苑先生

小学部小筆課題



主幹菅野翠濤

※半紙半分に書いて下さい。　（12月10日締切）　※半紙半分に書いて下さい。

1月10日締切課題予告

A部条幅規定　虹秋色満東南泛々五湖霜氣清漫々不辨水天形

B部条幅規定　清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛所

かな条幅規定　忍ぶれば涙ぞしるき紅にもの思ふ袖に染むべかりける（白河女御越後）

半紙規定（初段以上）　都尉北地大

半紙規定（一級以下）　學所能丕顯

半紙かな（初段以上）　久方の天の香具山いづる日も我かたにこそ光さすらめ（新院御製）

半紙かな（一級以下）　元日や松静かなる東山（高桑闌更）

実用文　古代以来、東アジアには中国を核として日本や朝鮮半島など周辺諸国が存在していました。中国は文化力でも中心でした。

一般硬筆初段以上　生成ＡＩが進化する時代、便利さの中で、思考する力を失わぬように手書きの価値も深まっている。

一般硬筆一級以下　窓の外に白い粉雪が舞い降り、静かに世界を白く染めてゆく。

令和9年学生書初めコンクール課題1月12日㈫締切

高校毛筆　春暖桃花開

中三毛筆　富士新雪

中二毛筆　天地清新

中一毛筆　新春の朝

小六毛筆　希望の年

小五毛筆　雪の元日

小四毛筆　新しい年

小三毛筆　かるた会

小二毛筆　おとし玉

小一毛筆　あさひ

高校硬筆　十二月号13ページ一般硬筆一級以下課題（行書可）

中三硬筆　年頭に当たり新春のお喜びを申し上げます。

中二硬筆　賀正　真美さんのご活躍をお祈りします。

中一硬筆　本年もよろしく、ご指導をお願い申します。

小六硬筆　新年にあたり今年は勉強もがんばります。

小五硬筆　冬休み中にみんなで遊びに来てください。

小四硬筆　家ぞくで書き初めをした。母はうまかった。

小三硬筆　冬休み中、かきぞめのれんしゅうをします。

小二硬筆　先生に、年がじょうをかきました。

小一硬筆　おしょうがつは、かるたをしたいな。